学校法人 浪越学園

園だより

JAPAN SHIATSU COLLEGE NEWSLETTER





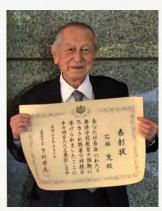
専修学校教育功労者受賞にあたり

この度は浪越和民理事長先生はじめ事務局のお計らい で、図らずも下村前文部科学大臣より私が長年に渉り専修 学校教育に尽力したということで表彰されました。

思えば縁あって日本指圧学校に非常勤講師として勤務 したのは昭和37 (1962) 年でした。その頃の学校は常勤の 先生は少なく、非常勤の先生がクラス担任を務める程で した。そのうちに徳治郎先生により大学の専門家に授業 担当をして頂きたいとのことで、かなりの人数の先生方 を本校に招きました。15年目が過ぎた頃、丁度第21期生 の時に徳島大学への転勤が決まり、退官まで20年間徳島 におりました。退官時、平成11(1999)年に徳治郎先生よ り本校へ帰ってきなさいという有難いお言葉を頂き復職 いたしました。

これからもさらに頑張って本校のために尽くしたいと 思っています。

校長 石塚 寛







受專 賞修 い学 た校 し教 ま育 し功 労者を







学園祭お疲れさまでした。

大盛況でひた!

今年も

台風の影響により開催が危ぶまれましたが、無事に開催することができました。みんなが一生懸命準備してくれた甲斐があって昨年同様多くの人に来ていただくことができました。

中庭では指圧連の阿波踊りや2年 生による座位指圧、4階ではチャリ



ティー指圧など学生による様々なイベントがあり、楽しんでいただけたのではないでしょうか。

3年間学園祭実行委員として、昼間部・夜間部問わず交流できる唯一の学園祭はとても楽しく、学校生活を充実させるものでした。中でも印象に残る女装コンテストでは3年間で2度もB組に優勝を持っていかれ、少々悔しいけれどいい想い出です。

我々3年生にとっては最後の学園 祭でしたが、是非来年もたくさんの 方々にお越しいただき指圧の良さ、 学校の良さを伝えられたらいいなと 思います。

(学園祭実行委員副委員長 森 純平)

去る平成27年7月18日(土)に 学園祭「ゆびまつり」と同時に学校 説明会を開催しました。

毎月行われているオープンキャンパスとは異なる趣旨で、学校の概要、指圧の定義や効果、国家試験、学生生活等についての詳しい説明、就職については指圧治療院、訪問マッサージ、整形外科、スポーツトレーナー、リンパドレナージ、マタニティ・ベビー、海外の7分野から活躍している卒業生をスライドにて詳しく紹介させていただきました。

また、在校生による生の声もお聞きいただきました。その後の質疑応答では沢山のご質問がありました。

新校舎の施設見学においては、ラウンジに掲載してある求人票と部活動に大変興味を持たれ、様々なお話をさせていただきました。

猛暑のなか沢山のご参加ありがと うございました。

(教員 金子智久)







昨年度より試験的に7回行ったオープンキャンパスは、本年度から学校行事となり、年間で10回行うこととなりました。当日の

スケジュールはオリエンテーションから始まり座学 模擬授業、指圧体験、学生の声、質疑応答、新校舎 施設見学です。参加人数は、昨年が157人、今年は 10月現在、計6回で172人となり、既に昨年の人数 を上回っております。さらに受験者の70%以上が オープンキャンパスの参加者です。昨年高校二年生 で参加されていた方が、今年は三年生となり受験さ れたケースも数件あり確実に効果があることがわか りました。

模擬授業などの体験により、学校をより理解して いただく、よい機会だと思います。

参加者アンケートの結果では、模擬授業、実技体験とも好評でした。また、学生さんたちと直接話をし、実際の学園生活について聞くことが出来て良かった、学生さんたちがとても親切だったというコ

メント等もありました。当校の学生さんたちが褒め られるのは心から嬉しいことです。

さて、意外だったのは、授業には慣れているはず の先生たちのほとんどが、模擬授業準備の段階から かなり緊張されていたことでした。

初めての方に授業を楽しんでいただけるかどうか、その後のアンケートの結果も気になりますし、考えると簡単ではないことです。

今年度の新しい試みとしては、以下を行いました。

今年度の試み

●夜間のオープンキャンパスを行いました [8月7日(金) 18:00より]

予想よりも参加者が多く、好評でした。それなら日曜日にもやってみてはどうだろうか というアイデアも出ております。

あらかじめ参加者の席順をこちらが決めておきます

オリエンテーション、座学授業で隣になった方とその後の実技体験でのペアを組みます。なごやかな雰囲気を作りリラックスしていただくという点では効果がありました。

●座学模擬授業からの指圧体験

座学模擬授業で学んだ内容が指圧実技体験 で活かせます。参加者がさらに指圧に興味を 持つことにつながりました。

回を重ねることにより、当校のオープンキャンパスはより充実した方向に進んでいます。

皆様のご協力への感謝ととも に、今後とも宜しくお願いし ます。 (事務局 佐野雅博)



合同会社説明会

平成27年7月27日(月)に合同会 社説明会が開催されました。

合同会社説明会とは、3年生を対象に治療院の魅力や特色を直接お話しいただく機会です。

当日は13社の事業者さんが仕事 内容や雇用形態などを熱心に説明し てくださいました。

普段は国家試験だけに目が向きが ちな学生も就職のことを真剣に考え るきっかけになったようでした。

また、実際に活躍されている姿を 目にして将来像を描いた学生も多 く、勉強に対しても顔つきが変わっ たような気がしております。

今回の開催にあたり、お忙しい中 ご参加いただいた事業者の方々に御 礼を申し上げます。

(教員 大久保直子)





東洋療法学校協会 第37回 学術大会 「医道の日本賞 |を受賞







平成27年10月7日(水) 大阪国際交流センターにて 「東洋療法学校協会第37回 学術大会」が開催されまし

た。 "肩甲間部への指圧刺激が瞳孔 直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果" というテーマのポスター発表に、他 校の学生からも多くの質問を受け、 多くの方が集まりました。

緊張しながらも、一つ一つしっか りと説明回答する学生たちに、指導 教員として大変心強く頼もしく、先 輩たちの意思を引き継いでいるのだ と感じました。

そして、「医道の日本賞」を頂くことができ、閉会式では代表で2年C 組田辺あゆみさんが壇上で賞状を授与されました。

この大会の受賞は今回で2度目となります。これは、指圧研究会の卒業生・現役生が積み重ね、受け継いできた研究の成果、そして被験者の皆様、理事長先生、校長先生のおかげであります。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

(指圧研究会顧問 田中智子)

職業実践専門課程認定について

平成26年度職業実践専門課程の認定状況が平成27年2月17日新たに全国で295校(677学科数)が認定されたと発表があり、当校の指圧学科(昼間部:夜間部)も認定されました。

職業実践専門課程の目的は「高等教育における職業 実践的な教育に特化した新たな枠組みづくり」に向け た専修学校専門課程(専門学校)における先導的試行 として、企業等との密接な連携により、最新の実務の 知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より 実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門 課程を、文部科学大臣が「職業実践専門課程」として 認定し、奨励するものです。

当校におきましても、職業実践専門課程の認定を受けることを契機として今後の高等教育における実務に関する知識、技術及び技能についての職業教育の維持向上を図る事を目的とした新たな職業教育の更なる充実を目指して、これからも努力していく次第です。

また今回の認定に当たり学校関係者評価委員会、 教育関係編成委員会の各委員の先生及び小林秋朝先 生、鈴木林三先生に種々のご協力を賜り感謝申し上げ ます。 (事務局 岡村文夫)



日本大学 陸上部トレーナー活動



平成27年5月より日本大学陸上部の選手たちのボディケア及びコンディショニングの調整として指圧トレーナー活動がスタートいたしました。この活動は、日本大学の砲丸投げのコーチである岡野雄司先生が当校51期卒業生というご縁で、選手ケアに携わらせていただける運びとなりました。

日本大学文理学部グランウンド (桜上水:東京都世田谷区)で行われる日本大学競技会で日本大学 の選手を中心に、5月より毎月1 度ボディケアに加えて、6月から は当校在校生の課外活動・実習現場として活動させていただいております。

指圧によるケアが中心となりますが、怪我から復帰する際の自身で行えるケア方法やリコンディショニングトレーニング方法など質問をしてくる選手の方々の意欲が高く、それに対し指圧ケアと共に知識を伝えることで身体感覚を共有し、

より質の高い、精度の高いケアと リコンディショニング指導ができ ていると感じております。

現在の日本におけるスポーツトレーナー事情は、国家資格を持たないトレーナーが選手にマッサージを行っているのが現状であり、私たちあん摩マッサージ指圧師の行う指圧マッサージとそうでない者のマッサージでは考え方も目的もケアの質にも大きな差があります。

1964年東京オリンピックの際 に浪越徳治郎先生の指圧がイタリ アの選手団と共に来日した物理療 法士であるルディ・パロンビーニ 先生の目に留まり、イタリアに指 圧が普及したという経緯がありま した。(著:浪越雄二『指圧発展の 歴史と臨床効果の検証』より)

2020年東京オリンピックでも 再び世界に『SHIATSU』が広まる ことを願い、また、他の競技の選 手・監督・コーチとスポーツに係 るすべての人々に正しい指圧を理 解していただけるよう今後も地道 にこの活動を続けて参ります。

(教員 石塚洋之)





専門実践教育訓練給付金について

平成27年度より、当校の昼間部・夜間部は、厚生労働大臣が指定 する専門実践教育訓練の指定講座となりました。

専門実践教育訓練給付金

働く人の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする、雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者 (在職者)、または、一般被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育 訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額が給付される制度です。

●専門実践教育訓練支援給付金

指定講座の受給対象者のうち、一定の要件を満たした方は、さらに受講支援のための給付が受けられる制度です。



海外関係



フランスから 来校されました

平成27年10月19日から10月23日までの5日間、日本指圧専門学校にてフランスから来日されたエステティシャン3名、ヨガインストラクター2名、初めて指圧を習われる方12名に指圧講習を実施いたしました。

本校教員浪越雄二先生と渡邉和雄 先生、48期浅田秀男先生、28期藤 井厚子先生、治療部大澤昌裕先生に 加えて私、横塚秀樹が講習を行いま した。通訳は浪越指圧基本実技の教 科書をフランス語に訳してくださっ たダニエル・メニニ先生です。

講習内容は基本指圧を行い、1日目は自己指圧・座位指圧、2日目は横队位、3日目は伏队位、4日目は



仰臥位(下肢・上肢)、5日目は仰臥 位(頭部顔面・胸部・腹部)の順に 進めていきました。

講習が進むに連れ講習生の方々の 緊張も取れ、笑顔の絶えない講習会 になりました。

皆熱心で質問もたくさん飛び交い 教科書だけでなくノートに細かくメ モを取っていたのが印象的でした。

また、講習が終わるとほとんどの 方が治療部に指圧を受けにきてくだ さいました。指圧を受けた後の満足 された笑顔は私にとって大きな収穫 になりました。

私たちは言語は違いますが、言葉 が通じなくても指圧で心が通じると いう貴重な経験をさせて頂きまし た。この場を借りて感謝を申し上げ ます。

講習生の方々がフランスでの指圧 普及に尽力してくださることを願い ます。 (治療部 横塚秀樹)



「カナダ・バンクーバー 海外指圧研修生」募集 池永清先生をお迎えして

49期生の代より毎年行われている、「カナダ・バンクーバー海外指圧研修生」募集のため、11月4日、28期卒業生の池永清先生が来校されました。

当日は、卒業を機にバンクーバーでの治療師生活を考えている3年生を中心とした学生が集まりました。池永 先生は、現在のカナダ・バンクーバーでの指圧事情や、 雇用条件・勤務の内容、また、バンクーバーはとても暮



らしやすい都市である こと、など幅広いお話 しをしてくださいまし た。学生達も熱心に耳 を傾けていました。質 疑応答でも、学生たち

からビザに関することなどが活発に質問され、それらに 対し池永先生は丁寧に回答してくださいました。

また、来年度も浪越徳治郎先生の掲げた「指圧を世界 に!」という理念を持った卒業生が海外へ旅立ち、指圧 の普及に貢献することでしょう。

(教務課長 黒沢純一)





バンクーバー Japan Shiatsu Clinic 指圧交流会



9月24日から9月30日まで、 5泊7日でカナダのバンクーバー に行って参りました。9月は雨期 に入る直前で、からっとしていて とても心地良い季節です。

バンクーバーでは本校の28期卒業生である池永清先生が、指圧の普及のためカナダ指圧カレッジという学校を設立し、さらに市内に治療院を6店舗経営されています。治療院では毎年本校の卒業生をワーキングホリデービザを利用し受け入れて頂いており、この度は治療院で働くスタッフの勉強会において講習を行いました。講習会は本校の卒業生を含め15名程のスタッフに参加していただき、応用腹部指圧と題して腰痛のタイプ別腹部指圧と東洋医学的腹診をテーマに講義と実技を行いました。仕事の後での講習会だったにもかかわらず、みなさん非常に熱心で

指圧を通した国際交流の尊さを実感した1週間となりました。池永先生とご家族およびスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

こちらが多くのことを学んだような気がします。

(教員 黒田美稚子)





平成27年8月19日、浪越和民理事長が 喜寿を迎えられ、学園事務局が主催し、さ さやかながらお祝いの会を開催いたしまし た。徳治郎先生、和民理事長と親交のある 歌手の佳山明生さんの軽妙コミカルな司会 で和気藹々とした雰囲気の中進行していき ました。

発起人、石塚寛校長先生からお祝辞と理 事長ご夫妻に記念品贈呈、更に田中智子先 生・黒田美稚子先生からご夫妻に花束が贈 呈されました。

理事長より謝辞が述べられた後、浪越学 園理事田村鉀二先生の音頭により乾杯。ア トラクションの一つ、雄二事務長のご友人 理事長祝う会と

「三笑亭夢丸師匠」の落語で会場はさらに 盛り上がりました。

50年来のご親友、国際医学出版(株)社 長守山惇様、後藤保正先生より友人ならで はの楽しいエピソードや暖かいお言葉を頂 戴しました。佳山明生さんの「マイウェイ」 は理事長のリクエスト曲、心のこもった歌 に胸が熱くなりました。

楽しい会はあっという間、稲場哲夫先生 のスローガン、小林秋朝先生の閉会の言葉 で終了致しました。

和民理事長、益々お元気にご活躍をお祈り申し上げます。

(教職員一同)



徽音祭 (お茶の水女子大学学園祭)



11月7日(土)8日(日)の2日間、 文京区大塚にあるお茶の水女子大学 学園祭(徽音祭)に指圧コーナーを 出展しました。これは学園祭におい て地域の人も楽しめるイベントとし て、徽音祭委員の方々の発案により 平成21年度からはじまりましたので 今回で7度目の参加となりました。

学園祭に来場した方を対象に15 分ほどの座位指圧を行いました。

6年前に指圧コーナーを設置した 当初は、指圧を受けていただくのは 大学の学生さんが多かったのです が、近年は大学の近隣にお住いの方 が多く来場され、指圧を受けること を目的に徽音祭にいらした方も多 かったようです。昨年は徽音祭来 者を対象に行ったアンケートのイベ ントランキングの結果、本校の指圧 コーナーは3位に選ばれたそうで す!あらためて、どこでも・だれに でも・道具を使わずにできる指圧の 素晴らしさが、多くの人に認められ た結果と思います。

本校の学生参加人数も年々増え、 今年は2日間で100名を超える学生 が参加いたしました。期間中、卒業 した徽音祭委員の方も指圧を受けに 来ていただき、懐かしい再会とな りました。初日が268名、2日目が 427名、合計695名の方に指圧を体 験していただくことができました。 昨年に引き続き参加した2年生から は「1年前よりも落ち着いて施術することができました」と自身の成長を実感できたようでした。

来年も、徽音祭委員からのオファーがあればぜひ参加したいと思っています。皆さんも是非参加してください。 (教員 髙橋雄輔)

礫川マラソン



平成27年11月29日(日)、文京区 青少年対策礫川地区委員会主催、第 41回礫川マラソンが開催されまし た。この催しには、本校も礫川地域 に根づいた学校として協賛し、毎年 化粧室の提供などをしております。 また、それに伴い本校舎第3実技室 にてランナーや運営スタッフの方々 に、指圧を受けていただくボランティ ア指圧も併せて行っております。

このボランティア指圧は、本校の

学生にとっても校外の方に対して指 圧を施せる貴重な経験を積める機会 であり、今年は昼間部・夜間部合せ て、3年生から5名、2年生から6 名、1年生から2名の合計13名が 参加しました。今回は、スポーツボ ランティアの分野で多く行われてい るベッドでの施術に慣れてもらいた いという観点から、ベッドを用いた 指圧に取り組みました。施術時間を 30分程度とし、各自が問診・施術に 至るまで全て行いました。慣れない ベッドでの指圧に最初は戸惑ってい ましたが、日頃より基本指圧を練習 している成果を発揮し、指圧を受け た33名の方々全員に満足してお帰 りいただけました。また、指圧を受 ける前と後にアンケートを行い、術 前と術後の比較をする資料も収集し ました。こちらの集計も楽しみです。 来年も是非行いますので、学生の皆 様の参加をお待ちしております!

最後に、今回、指圧を受けていただいた方々、並びにボランティアに参加してくれた学生の皆様に心より感謝申し上げます。(教員 本多 剛)

●平成28年度入試日程(平成28年4月入学)

試験区分	出願期間	入学選考日
社会人入試[第一次募集]	平成 27 年 8月 27 日 (木) ~9 月 3日(木)	平成 27 年 9月 6日(日)
推薦入試	平成 27 年 9月 28 日 (月) 10月 日(木)	平成 27 年10月 4日(日)
一般入試[第一次募集]	平成 27 年10月 29 日 (未) ~11月 5日(木)	平成 27 年11月8日(日)
一般入試[第二次募集]	平成 27 年11月 26 日(木)~12月 3日(木)	平成 27 年12月 6日(日)
社会人入試[第二次募集]	平成 28 年 1月 7日 (木) ~1月14日(木)	平成 28 年 1月17日(日)
一般入試[第三次募集]	平成 28 年 1月 28 日 (木) ~2 月 4日(木)	平成 28 年 2月 7日(日)



浪越学園だより 第12号

発行日:2015 年 12 月 18 日 発行人:理事長 浪越和民

発 行:学校法人浪越学園 日本指圧専門学校

〒 112-0002 東京都文京区小石川 2 丁目 12 番 4 号

TEL.03-3813-7354 / FAX.03-3812-5003

http://www.shiatsu.ac.jp/

編集·制作:国際医学出版株式会社